

個別マニュアル：近隣国によるミサイル発射時

2022. 11. 14

総務課

※ 入試時は、各キャンパスで作成した入試要領によって行動する。

※ 業務時間外の場合は【4】を参照

【1】 Jアラート鳴動 ミサイル発射情報・避難の呼びかけ

(1) 芸森：管理センター 桑園：監視室

- ・ Jアラート受信後直ちに学内放送開始
「管理センター（監視室）よりお知らせします。ただいま、政府からミサイル発射の緊急情報が発表されました。被害を防ぐため、屋外にいる方は近くの建物の中に避難して下さい。屋内では、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して、自らの安全確保をして下さい。補助が必要な方は、近くにいる教職員に声をかけて下さい。なお、エレベーターの使用は禁止します。現在状況を確認中ですので、落ち着いて行動して下さい。」

(2) 授業中の教員

- ・ 今後の放送をよく聞くよう学生へ指示
- ・ 被害を防ぐため、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ学生を誘導し、机の下にもぐる、姿勢を低くするなど自らの安全確保をするよう指示

(3) 授業中の学生

- ・ 教員の指示に従う。

(4) 授業以外で大学にいる教職員及び学生

- ・ 屋外にいる場合は、近くの建物の中に避難する。
- ・ 屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。
- ・ 周りに補助が必要な方がいる場合は、声をかけて安全確保の協力をする。

【2】 Jアラート鳴動

A：日本の領土・領海の上空を通過 →【2-1】へ

B：日本の領海外の海域に落下 →【2-2】へ

C：ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性がある →【2-3】へ

【2-1】 Jアラート鳴動 日本の領土・領海の上空を通過

(1) 芸森：管理センター 桑園：監視室

- ・ Jアラート受信後直ちに学内放送開始
「管理センター（監視室）よりお知らせします。先程のミサイルは、日本の上空を通過したことが確認されましたので、避難などの安全確保は必要ありませんが、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、総務課（桑園事務室）へ連絡して下さい。」

(2) 教職員及び学生

- ・ 避難解除
- ・ 不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、総務課（桑園事務室）へ連絡する。

対応終了

【2-2】 Jアラート鳴動 日本の領海外の海域に落下

(1) 芸森：管理センター 桑園：監視室

- ・ Jアラート受信後直ちに学内放送開始
「管理センター（監視室）よりお知らせします。先程のミサイルは、●●に落下した模様です。避難などの安全確保は必要ありませんが、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、総務課（桑園事務室）へ連絡して下さい。」

(2) 教職員及び学生

- ・ 避難解除
- ・ 不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、総務課（桑園事務室）へ連絡する。

対応終了

【2-3】 Jアラート鳴動 ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性がある

(1) 芸森：管理センター 桑園：監視室

- ・ Jアラート受信後直ちに非常サイレンを鳴らし、非常放送開始
「管理センター（監視室）よりお知らせします。ミサイルが落下する可能性があります。被害を防ぐため、屋外にいる方は直ちに近くの建物の中に避難して下さい。それができない場合は物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守るなどして下さい。屋内では、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して、自らの安全確保をして下さい。」

(2) 授業中の教員

- ・ 引き続き放送をよく聞くよう指示。
- ・ 放送後、被害を防ぐため、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ学生

を誘導し、机の下にもぐる、姿勢を低くするなど自らの安全確保をするよう指示。

(3) 授業中の学生

- ・ 教員の指示に従う。

(4) 授業以外で大学にいる教職員及び学生

- ・ 教職員は、周りに学生がいれば、引き続き放送をよく聞いて行動するよう指示。
- ・ 屋外にいる場合には、直ちに近くの建物の中に避難する。また、近くに適切な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
- ・ 屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

A : 日本の領海外の海域に落下 →【2-2】へ

B : 日本の領土・領海に落下 →【3】へ

【3】 Jアラート鳴動 落下場所等についての情報（日本の領土・領海に落下）

(1) 芸森：管理センター 桑園：監視室

- ・ Jアラート受信後直ちに非常サイレンを鳴らし、非常放送開始

A 札幌近郊以外に落下した場合

「管理センター（監視室）よりお知らせします。ミサイルは、●●への落下が確認されました。只今情報を収集中です。なお、窓は開けず、引き続き屋内に避難して下さい。」

※ 管理センター（監視室）はこの後、総務課と協議し、引き続き、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて情報収集し、必要な指示を行う。

B 札幌市内（近郊）に落下した場合

「管理センター（監視室）よりお知らせします。ミサイルは札幌市内（近郊）への落下が確認されました。本学に直接的な被害がおきる可能性があるため、只今情報を収集中です。なお、窓は開けず、引き続き屋内に避難して下さい。」

※ 管理センター（監視室）はこの後、総務課と協議し、引き続き、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて情報収集し、必要な指示を行う。

(2) 教職員及び学生

これ以降は行政からの情報を基に行動。

近くにミサイルが着弾した場合は、弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なるが、次のように行動する。

- ・ 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
- ・ 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、可能であれば目張りをして室内を密閉する。

(3) 危機管理委員会・危機対策本部

- ・ 学長は危機対策本部の設置の有無を判断
- ・ 危機管理委員会（又は危機対策本部）で協議し、今後の対応を決定

- ・ 学生、非常勤教員（当該日出勤予定者）、大学訪問予定者等へ緊急連絡体制により連絡（各連絡担当部署）
- ・ ミサイル着弾による火災の発生や負傷者対応、安否確認については、危機管理基本マニュアル（7 緊急時（有事））に基づき対応。

【4】 Jアラート鳴動が夜間・始業前の場合

(1) 芸森：管理センター 桑園：監視室

授業時間外であっても学内に人がいる可能性があるため、【1】～【3】の非常サイレン・非常放送を実施

(2) 教職員及び学生

- ・ 学内にいる教職員及び学生は【1】～【3】に従い対応
- ・ 学外にいる教職員及び学生については、各自でJアラート等に従い対応

(3) 危機管理委員会・危機対策本部

- ・ 学長は危機対策本部の設置の有無を判断
- ・ 危機管理委員会（又は危機対策本部）で協議し、今後の対応を決定。（登校禁止、通常授業等）
- ・ 必要に応じて緊急連絡体制により教職員へ連絡
- ・ 必要に応じて学生、非常勤教員（当該日出勤予定者）、大学訪問予定者等へ緊急連絡体制により連絡（各連絡担当部署）